

## 本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
<b>2017年</b>			
10月 23日(月)	日本水環境学会産官学協力委員会主催第32回見学会	神奈川	40巻9号
25日(水)	水環境分野で活躍する女性の仕事や働きぶり紹介ー日本ミクニヤ(株)訪問ー〈日本水環境学会関東支部〉	神奈川	本号
27日(金)	平成29年度日本水環境学会関東支部見学会のご案内 水の里を訪ねて～サントリーー白州蒸留所ほか～	山梨	本号
11月 3日(金)～4日(土)	2017年度日本水環境学会東北支部セミナー 福島県の水環境問題とその課題解決に向けた取り組み	福島	本号
8日(水)～10日(金)	日本水処理生物学会第54回大会(大阪大会)	大阪	40巻9号
9日(木)	アクア・イノベーション拠点 第5回シンポジウム in Tokyo	東京	本号
9日(木)～12日(日)	第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	沖縄	本号
15日(水)～17日(金)	2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017)	濟州島 (韓国)	本号
16日(木)～17日(金)	第31回日本吸着学会研究発表会	静岡	40巻8号
16日(木)～17日(金)	日本腐植物質学会第33回講演会	山口	40巻9号
21日(火)	第23回膜分離技術セミナー	東京	本号
12月 6日(水)～8日(金)	第44回炭素材料学会年会	東京	本号
7日(木)～8日(金)	第17回上下水道膜セミナーおよび膜処理施設見学会	熊本	本号
<b>2018年</b>			
1月 27日(土)	第5回水環境学会東北支部研究発表会	仙台	本号
2月 2日(金)	第63回水環境学会セミナー	東京	本号
3月 15日(木)～17日(土)	第52回日本水環境学会年会	札幌	本号
7月 14日(土)～15日(日)	WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018)	愛媛	
9月 4日(火)～6日(木)	第21回日本水環境学会シンポジウム	島根	
16日(日)～21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	
<b>2019年</b>			
3月	第53回日本水環境学会年会	山梨	

## 平成 29 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 29 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

**申込方法** 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

### 学生会員制度の概要

#### (1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで。なお、本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。

#### (2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

#### (3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布は無くなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 ([member@jswe.or.jp](mailto:member@jswe.or.jp)) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

## 第 52 回日本水環境学会年会への発表・参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2018 年 3 月 15 日（木）～17 日（土）に北海道札幌市にて第 52 回日本水環境学会年会が開催されます。年会での発表申し込みはインターネットによる申し込みのみとなっております。また、発表申し込みの際に会員資格確認があり、会員資格のない方および入会手続き中の方の発表申し込みは受け付けられません。（発表申し込み開始は 9 月 20 日（水）予定です。）

年会発表予定者は 2017 年 10 月 31 日（火）までに入会申し込み手続きを済ませ、会員番号を取得してください。（インターネットでの入会申し込み手続き、年会会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。）

また、年会参加予定者につきましては、2018 年 2 月 13 日（火）までに同様の入会申し込み手続きをしていただければ会員価格でご参加いただけます。

入会案内 URL：<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

なお、発表申し込み締め切りは 11 月 20 日（月）24:00 です。

### 本会関連行事

#### 第 52 回日本水環境学会年会 研究発表申し込み等案内

第 52 回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諸否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

##### 1. 概要

内容 一般研究発表  
(口頭発表とポスター発表のセッション)

期 日 2018 年 3 月 15 日（木）～17 日（土）3 日間

会 場 北海道大学工学部

〒060-8628 北海道札幌市北区北 13 条西 8 丁目

交 通 JR 札幌駅から徒歩約 20 分

詳細は <http://www.eng.hokudai.ac.jp/access/>

##### 2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果  
応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者（ポスター発表の代表発表者を含む）  
は正会員（個人正会員、団体正会員）および

学生会員とします。登壇予定者は2017年10月31日(火)までに、本会ホームページ(<https://www.jswe.or.jp/guest/entry.php>)より入会申込手続きを済ませてください。会費の入金が確認された後、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申込はできません。1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者含む)となることはできません。

### 申し込み方法

- 1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ(<http://www.jswe.or.jp/>)の当該バナーから第52回日本水環境学会年会発表申込ページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。送信完了後に、受付番号が自動返信されます。パソコンの機種によっては、返信に時間がかかることがあります。1日以上たっても返信のない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申込画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申込画面を複数開かないようにしてください。
- 2) 申し込み期間は2017年9月20日(水)～11月20日(月)24:00です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。
- 3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は17で始まり最後にSのつく5桁の数字です。「本登録完了のお知らせ」メールに記載されています。仮会員番号では登録できません。  
発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。
- 4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。2017年度から、分類に若干の変更があります。最新の分類にしたがってください。
- 5) 発表形式の希望(口頭発表、ポスター発表、どちらでも可)を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。2017年度は、一般ポスター発表は1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載(コアタイム)になります。
- 6) 発表申込・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申込を日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申込を英語

で行い、講演要旨も英語で作成してください。

- 7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後に変更することはできません。申し込み内容は各自でお控えのうえ、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。「発表申込受付完了のお知らせ」メールにも記載されています。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名(フリガナ、漢字)の間違いについても十分ご留意のうえ、間違いがあった場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。
- 8) 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、共同発表者に限ります。必ず事前にご連絡ください。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

### 発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表はすべてMicrosoft PowerPointでの発表となります。詳しくは、ホームページ  
<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>に掲載の「口頭発表(プロジェクター使用)要領」,「ポスター作成および発表要領」をご覧ください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分(発表10分、質疑応答5分)を予定しています。
- 3) ポスター発表は年会開催期日の指定時間内に掲示いただきます。討議時間も予定しています。2017年度は、一般ポスター発表は1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載(コアタイム)になります。なお、会場の都合上、パソコン等のOA機器を利用したポスター発表は受け付けません。

### 年会優秀発表賞(クリタ賞)

博士前期課程(修士課程)の大学院生による研究発表のうち、とくに優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表(2次審査)は年会2日目のみにおこなわれます。2次審査は従来とは異なり、審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式となりました。

### 年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)

学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生によるポスター発表のうち、とくに優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみにおこなわれます。従来とは異なり、審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式となりました。

### 問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 第52回年会係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

別表 水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/Middle classification フィールド、メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物, 栄養塩類, 懸濁物質, 無機イオン, 重金属, 内分泌攪乱物質, 農薬, 微量化学物質, 汚濁負荷, ポイント・ノンポイントソース, 溶存酸素, 界面活性剤, 変異原性物質, アオコ, 富栄養化, 植物プランクトン, 動物プランクトン, 底質, 汽水域, 干潟, 藻類, 赤潮, 貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/ watershed management	水資源, 循環利用, 地下水, 排出負荷測定, 排出源推定, 排出負荷削減, 水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝, 魚類, 水生植物, 海草, 海藻, 生物濃縮, 食物連鎖, 藻場, ベントス, 微生物生態, 生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標, 理化学的指標, 生物指標, 健康関連微生物, 環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質, 生態系, 流出, 浄化予測, 汚濁負荷推定, 水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化, 浄化機構, 富栄養化, 水理, 水文, 直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrofication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化, 局地的豪雨, 浸水/災害対策, 渇水, 調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス, 生態系機能, 自然資本, グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌, 地下水, 硝酸, 揮発性有機化合物, 重金属, ヒ素, 水理, モデル, バイオレメディエーション, 微生物, 活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源, 有機物, 重金属, 微量化学物質, 農薬, 濁度, 臭気物質, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, オゾン, 紫外線, 膜, 消毒, 健康関連微生物, 消毒副生成物, 給配水, 再増殖, 気候変動, リスク評価, リスク管理, 水質事故など	water source, organic matter, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法, オキシデーションディッチ法, 膜分離活性汚泥法, 生物ろ過法, 生物活性炭, 固定化担体, グラニュール法, UASB法, メタン発酵, 嫌気性消化, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, 浮上分離, 膜, オゾン, 塩素, 紫外線, 電解処理, 促進酸化処理, 消毒副生成物, 健康関連微生物,	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
	5	化学処理 chemical treatment		
	6	消毒 disinfection		
	7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
	8	人工湿地 constructed wetland		
	9	その他 others		
E 排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/ persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PPCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
	2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
	3	金属類 metals		
	4	塩分除去 desalting		
	5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
	6	その他 others		
F 排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
	2	工場排水 industrial wastewater		
	3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
	4	その他 others		
G 排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
	2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
	3	遺伝子解析 genetic analysis		
	4	その他 others		
H 排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment - wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
	2	省エネ・創エネ energy conservation/ energy production		
	3	地球温暖化 global warming		
	4	微細藻類 microalgae		
	5	その他 others		
I 汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/ Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
	2	廃棄物処理 waste treatment		
	3	バイオマスエネルギー変換、 バイオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/ Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水, 河川, 地下水, 湖沼, 海域, 浸出水, 健康関連微生物, 細胞毒性, 変異原性, 水生生物, 生物濃縮, 生態系影響, リスク評価, 指標生物, DNA マイクロアレイ, 内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析, GC/MS 法, LC/MS 法, 簡易分析, センサー, 内分泌攪乱物質, 金属元素, 微量有機化学物質, 健康関連微生物, PCR 法, ハイブリダイゼーション法, バイオセンサー, 培養細胞, 水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/ management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー, コスト, LCA, 二酸化炭素発生対策, 気候変動, 温暖化防止, リスク管理, アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO <sub>2</sub> emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/ International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/ overseas research 3 その他 others	環境保全活動, 環境学習, 地域参加, 環境計画, 地球環境, 文化交流, 技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観, 都市設計 landscape/urban planning 2 地域, 暮らし, 歴史, 伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観, 都市設計, デザイン, 暮らしと水, 親水, 行政, ホタル, 文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質, 挙動, 除去, 分析など 被害, 復旧, 自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A ~ P 以外 Others	1 その他 others		

注：2017 年度に中分類の変更があります。選択時にはご注意ください。  
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

### 3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿（講演要旨原稿）を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

**作成方法** 原稿枚数はA4判1枚（図表も含む）とします。  
**提出方法** 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

**個人会員（会員専用ページ）：**  
(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

**団体会員：**  
(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

**提出期限** 2018年1月18日（木）アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

**著作権** 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

### 4. 講演集の電子化について

2015年度（第50回）から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル（ダウンロード方式）版が標準になりました。講演集の公開日（発行日）は年会開催日の1週間前を予定しています。年会会場での印刷サービスはありません。ただし、プログラム等については冊子版を用意しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

### 5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

### 6. 研究集会について

年会期間中に行う場合は、会場内に場所を確保いたしますので下記にお問い合わせください。

研究集会についての問い合わせ先

佐藤久，北海道大学

E-mail：qsatoh@eng.hokudai.ac.jp

### 7. 特別講演のご案内

講師として横井成尚氏（サッポロビール株式会社 取締役 執行役員）、西川浩一氏（ニッカウキスキー北海道工場長）の講演を予定しています。

**期 日** 2018年3月16日（金）15:00～16:15

**会 場** 北海道大学工学部（年会会場）

**参加費** 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

### 8. 懇親会について

懇親会の開催概要は以下の通りです。皆様奮ってご参加ください。

**日 時** 2018年3月16日（金）18:30～20:00

**会 場** キリンビール園 本館 中島公園店

（札幌市中央区南10条西1丁目1-60）

地下鉄南北線中島公園駅1番出口徒歩2分

<http://www.kirinbeer-en.co.jp/>

### 9. 保育室の設置

会場から徒歩約10分のところにある保育所を無料で利用いただけます。お問い合わせ・お申込みは [takuji@jswe.or.jp](mailto:takuji@jswe.or.jp) までお願いします。

### 10. 見学会のご案内

特別講演の内容と関連した場所を見学していただきます。

コース1 サッポロビール北海道工場  
（北海道恵庭市戸磯 542-1）

コース2 ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所  
（北海道余市郡余市町黒川町 7-6）

日 時 学会期間中の3日間全日の午後

交通手段 JR

お問い合わせ・申し込み

E-mail：excursion@jswe.or.jp

### 11. 宿泊のご案内

宿泊の斡旋は行っておりません。

札幌市内は慢性的に混みあう恐れがありますので、早めの手配をお願いします。

### 12. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 第52回年会係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

### 「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第52回日本水環境学会年会において、**博士前期課程（修士課程）の大学院生**を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数のご応募を歓迎します。

**表彰の趣旨** 研究意欲の啓発を目指し、**博士前期課程（修士課程）の大学院生**を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

**表彰対象者** 年会において口頭発表を行う**博士前期課程（修士課程）在学**の学生会員に限ります。対象者以外のお申込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

**応募方法** 本会ホームページから年会研究発表を申込み時に年会優秀発表賞（クリタ賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

### 審査方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目午前にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。**例年と異なり、2日目に開催です。ご注意ください。**

### 結果通知および表彰等

1) 1次審査結果は発表申込時に登録したE-mailアドレス宛に応募者全員に通知します。

2) 2次審査結果（受賞者）は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式に

において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った者には、表彰式において参加賞を授与します。

- 3) 1次審査を通過しポスター発表を行った者全員を懇親会へ招待します。

#### スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 1) 2017年11月20日（月）応募締め切り
- 2) 2018年1月18日（木）講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 2018年2月中旬 1次審査結果の通知
- 4) 年会 2日目午前 ポスター発表による2次審査
- 5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

付記 年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞の修士修了者は、国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定）の助成候補対象となります。

#### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会  
年会優秀発表賞（クリタ賞）係  
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

#### 「年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）」 候補者の募集

第52回日本水環境学会年会において、学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数のご応募を歓迎します。

**表彰の趣旨** 研究意欲の啓発を目指し、学部生、高専生、短大生を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

**表彰対象者** 年会においてポスター発表を行う大学学部、高等専門学校、短期大学在学の学生会員に限ります。対象者以外のお申込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

**応募方法** 本会ホームページから年会研究発表を申込み時に年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

**審査方法** 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

#### 結果通知および表彰等

- 1) 審査結果（受賞者）は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。ライオン賞応募者は表彰式にご参加ください。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。

- 2) 受賞者を懇親会へ招待します。

#### スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 1) 2017年11月20日（月）応募締め切り

- 2) 2018年1月18日（木）講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 ポスター発表による審査
- 4) 年会 表彰式 審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

#### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会  
年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）係  
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

#### 海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」 JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award 第52回日本水環境学会年会の 助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2018年3月に札幌で開催される平成29年度年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

#### 〈募集の手引き〉

**応募資格** 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html> 参照）で、平成29年度年会において研究発表を予定する者

入会希望者は2017年10月末日以前に日本水環境学会への入会手続きをおこなうこと

**助成内容** 年会・懇親会への招待、および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成（一律10万円を予定）

**助成対象** 若干名

**応募方法** 助成を希望する本人が、年会の研究発表申し込み（2017年11月20日（月）締切）の手続き後に応募書類を提出すること

**提出書類**（書式は自由）

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、Tel、Fax、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文の別刷り（PDF可）および発表論文リスト）
- 発表受付番号と発表題目

**提出期限** 2017年11月21日（火）必着

**提出先**（公社）日本水環境学会 水環境国際招聘賞選考委員会



郵送の場合：〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤 201 号

E-mail の場合：kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

**合否通知** 選考結果については、2017 年 12 月末日までに応募者に通知する。

### 第 63 回日本水環境学会セミナーのご案内 「第 8 次水質総量削減 ～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～」

これまでの閉鎖性海域における水質管理は、公害の時代を経て水質総量規制（水質総量削減）という形で実施されてきた。しかしながら、近年漁獲量の減少や海苔の色落ちの原因の 1 つとして、貧栄養化（無機態窒素・リンの減少）の進行が指摘されている。望ましい生態系という観点からも、きれいで豊かな海とは何かを考え直す時期に来ていると考えられる。本セミナーでは多方面から講師をお呼びし、きれいで豊かな海と水質総量削減について考える機会を提供する。

**主催** 日本水環境学会

**期日** 2018 年 2 月 2 日（金）9:55～16:40

**場所** 自動車会館大会議室（東京都千代田区九段南）

#### プログラム

9:20～9:55 受付

9:55～10:00 開会の挨拶

10:00～11:00 第 8 次水質総量削減と今後について

放送大学理事・副学長 岡田光正

11:10～12:10 カキ等の漁業生産に関する里海再生や藻場・干潟の再生について

(公財) 国際エメックスセンター理事  
柳哲雄

～昼休み～

13:10～14:10 新たな海洋基本計画における水産の課題について

水産大学校代表 鷺尾圭司

14:20～15:20 健全な水環境の創出に向けた下水道の取組について

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 岩井聖

15:30～16:30 兵庫県の取組～沿岸域の再生、創出と水質の保全、管理の取組～

兵庫県環境部長 秋山和裕

16:30～16:40 閉会の挨拶

\*講師の都合等で一部変更となる場合があります。

#### 参加費（税込）

会員 7,000 円、学生会員 3,000 円、

非会員 15,000 円、学生非会員 4,000 円

**定員** 先着 130 名

**申込方法** Fax, E-mail, 参加申込書またはハガキに①参加者氏名（フリガナ）②会員・非会員の別③会員の場

合は会員番号④連絡先（所属団体名、住所および電話・Fax 番号、E-mail アドレス）をご記入の上、下記宛てお申し込みください。また、参加費を 1 月 25 日までにお振込みください。入金を確認後、参加証（ハガキ）をお送りいたします。

#### 参加費振込先

三菱東京 UFJ 銀行 市ヶ谷支店（普通）0754950

（公社）日本水環境学会セミナー口

シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

#### セミナー参加証明書の発行について

継続技術者教育（CPD）の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行を希望される方は当日受付においてその旨を申し出てください。

#### 申し込み・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 セミナー係

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352

E-mail : togawa@jswe.or.jp

#### 水環境分野で活躍する女性の仕事や働きぶり紹介

##### ～日本ミクニヤ(株)訪問～

##### 〈日本水環境学会関東支部〉

**主催** 日本水環境学会関東支部

**期日** 2017 年 10 月 25 日（水）14:30～16:50

**場所** 日本ミクニヤ(株)（本社）3 階大会議室

神奈川県川崎市高津区溝口 3-25-10

[http://www.mikuniya.jp/company/company\\_map\\_honsya.html](http://www.mikuniya.jp/company/company_map_honsya.html)

#### プログラム

下記の分野で活躍する女性職員による仕事内容および仕事と私生活の両立等についてのお話に加えて、日本ミクニヤ(株)における男女共同参画の取り組みなど（内容については、変更の可能性あり）

①環境調査②環境分析項目と環境現況評価③河川計画④環境影響予測（流動・水質予測）⑤その他（環境学習等）

\*エントランスで受付を済ませ、14:30 までに 3 階大会議室にお集まりください。14:00 に受付開始いたします。終了後は希望者のみの懇親会があります。詳細は関東支部のホームページ（詳細 URL）をご参照ください。

**参加申し込み方法** ①参加者氏名、②会員・非会員の別、③会員の場合は会員番号、④連絡先（所属団体名、住所および Tel, E-mail アドレス）⑤懇親会の希望の有無をご記入の上、「問い合わせ先」宛てに E-mail にてお問い合わせください。

**参加費** なし（懇親会に参加される方、4,000 円程度）

**詳細 URL** <http://www.jswe-kanto.com/>

### 申込み・問い合わせ先

(公社) 日本水環境学会関東支部市民活動部会 三島  
E-mail: jswe.kanto.muse@gmail.com

## 平成29年度日本水環境学会関東支部見学会のご案内 名水の里を訪ねて ～サントリー白州蒸留所ほか～

水はすべての生命の源です。今回の関東支部見学会は、山梨県を舞台に、まず、名水を育む南アルプスの豊かな自然と歴史を体感していただきます。そして名水を用いた、職人の知恵と技による芸術品といえるウイスキーの製造工程などをたっぷりと見学します。秋の一日、美しい紅葉の中で、水の大切さ、素晴らしさを堪能してみませんか。

**主催** 日本水環境学会関東支部

**期日** 2017年10月27日(金) 10:00～16:00頃

**場所** ①大滝湧水公園(山梨県北杜市)  
②サントリー白州蒸留所(山梨県北杜市)

**集合場所** 10:00にJR中央本線/小海線・小淵沢駅改札前にお集まりください。(解散場所も同じです。)

※本見学会の詳細は、関東支部のホームページ(<http://www.jswe-kanto.com/>)でもお知らせいたします。

**内容** 小淵沢駅(集合)→大滝湧水公園(見学)→サントリー白州蒸留所(自由昼食の後、ウイスキーの蒸留所と南アルプスの天然水の工場の見学(解説付き))→小淵沢駅(解散)

**定員** 30名(先着順)

**参加費** 会員(個人会員・団体会員・賛助会員):1,000円、非会員:2,000円、学生:無料  
※当日現地支払いです。

**申込締切り** 2017年10月16日(月)

**申し込み方法** ①参加者氏名、②会員・非会員の別、③会員の場合は会員番号、④連絡先(所属団体名、住所およびTel、E-mailアドレス)をご記入の上、下記宛にてE-mailにてお申し込みください。

### 申し込み・問い合わせ先

日本水環境学会関東支部企画部会見学会担当  
E-mail: jswe.kanto.kikaku@gmail.com

## 2017年度日本水環境学会東北支部セミナー 福島県の水環境問題と その課題解決に向けた取り組み

**主催** 日本水環境学会東北支部

**期日** 2017年11月3日(金)～4日(土)

**場所** 東北支部セミナー:郡山駅西口ビッグアイ 市民交流プラザ、現場体験:猪苗代湖 天神浜

### プログラム

11月3日(金)

13:00 開会の挨拶

13:05～ 「猪苗代湖、水質日本一復活を目指して  
～現状と取り組み～」

(NPO 輝く猪苗代湖をつくる県民会議  
中村玄正)

13:40～ 「福島県西郷村堀川ダムにおける特定外来生物ウチダザリガニの駆除活動とウチダザリガニを資源として活用するための試み」  
(福島大学共生システム理工学類 塘忠顕)

14:15～ 「福島県広野町の現状と水環境(仮)」  
(福島工業高等専門学校 高荒智子)

休憩

15:00～ 「被災地における放射線性物質汚染からの回復に向けた取り組み」  
(国立研究開発法人国立環境研究所 林誠二)

15:35～ 「被災地における放射性物質と水産資源の現状」  
(福島県内水面水産試験場 川田暁)

16:10～ 「池沼の放射性物質対策工事の実際」  
(小柳建設株式会社 本田玄基)

16:40～ 閉会の挨拶

11月4日(土)

10:00～12:00 水草回収活動現場体験

※11月4日は郡山駅前から往復の送迎バス(予定)

**参加費** 11月3日(金)の支部セミナーは無料です

**備考** 11月3日(金)の支部セミナー後に、情報交換会を予定しております(費用別途)。

11月4日(土)の水草回収活動現場体験後に、磐梯熱海温泉に移動して慰労会(昼食&入浴)を予定しております(費用別途)。

**申込方法** 参加者の氏名、所属、連絡先(Tel、E-mailアドレス)、情報交換会・水草回収活動現場体験・慰労会の参加の有無をご記入の上、10月27日(金)までにE-mailでお申し込みください。

**詳細 URL** <http://jswetohoku.web.fc2.com/>

<http://inawashiro-mizukankyo.com/>

### 問い合わせ・申し込み先

(公社) 日本水環境学会東北支部セミナー事務局  
中野和典

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1  
日本大学工学部

Tel: 024-956-8719 Fax: 024-956-8858

E-mail: knakano@civil.ce.nihon-u.ac.jp

## 第5回日本水環境学会東北支部研究発表会

日本水環境学会東北支部では支部会員および関連団体の技術研鑽と情報交換を目的に第5回水環境学会東北支部研究発表会を下記の通り開催します。とくに大学学部生、大学院生、若手の社会人研究者の方々のご発表を歓迎します。また、昨年度に引き続き、日頃より地域の水

環境問題に取り組まれている市民団体やNPO、高校生のみなさんも、会員の推薦があれば発表機会を提供します。なお本研究発表会は第10回廃棄物資源循環学会東北支部研究発表会との共催となります。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

**共催** 日本水環境学会東北支部、廃棄物資源循環学会東北支部

**日時** 2018年1月27日(土) 8:50~17:30(予定)

**場所** 東北大学大学院工学研究科総合研究棟

**発表形式** 口頭発表12分(A4版2ページの要旨作成有り)・質疑応答3分間、またはポスター発表(ポスターA1版、概要300字以内作成有り)。プログラムは支部HPにて後日お知らせします。

**参加費** 社会人 2000円、学生 500円(要旨集代) 当日支払い

**発表申込期限** 2017年12月15日(金)

**要旨提出および参加申込み期限** 2018年1月10日(水)

**その他** 発表会の後、簡単な意見交換会(会場:総合研究棟1階110室)を開催予定(参加申し込みが必要です)。なお、要旨作成方法など発表者に必要な情報は、東北支部HP:<http://jswetohoku.web.fc2.com/> または、適宜メールにて(参加申し込みをいただいた方)お知らせします。

**問い合わせ先** 東北大学・北條俊昌

E-mail: toshimasa.hojo.b5@tohoku.ac.jp

Tel: 022-795-7466

### 第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する様々な課題についての国内最大規模の研究集会として、研究成果や事例発表、意見交換や技術交流、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、100件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々にご参加いただいております。

このたび第23回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は、公開シンポジウム「地下水・土壌汚染対策による土地・水資源の利活用と地域振興に向けて」や沖縄県における地下水および土壌汚染関連の現地見学会も企画しておりますので、多くの皆様に、ご発表やご参加を頂きますようご案内申し上げます。

**主催** 日本地下水学会(主管学会)、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、地盤工学会、土壌環境センター

**期日** 2017年11月9日(木)~12日(日)

**場所** 沖縄県男女共同参画センター「ているる」

大ホール他(沖縄県那覇市西3-11-1)

#### 内容(予定)

11月9日(木)、11月10日(金)

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、企画シンポジウム、企業展示他

11月10日(金)懇親会

11月11日(土)公開シンポジウム

11月12日(日)現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターのHP(詳細URL)で確認ください。

**参加申し込み方法** 事前参加申込期間を過ぎました。当日会場受付にてお申し込みください。

**参加費** 一般:11,000円

学生:4,000円

懇親会会費:6,000円

**詳細URL** <http://www.gepc.or.jp/kenkyu/23rd/>

**問い合わせ先** 第23回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 久保木  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5  
KSビル3階

(一社)土壌環境センター内

Tel:03-5215-5955 Fax:03-5215-5954

#### IWA 関連行事

### The IWA World Water Congress & Exhibition IWA 世界水会議 (IWA2018 TOKYO)

**主催** IWA (International Water Association)

**期日** 2018年9月16日(日)~21日(金)

**場所** 東京ビッグサイト(東京)

**詳細URL** <http://worldwatercongress.org/>

#### IWA 2018 参加登録費助成予定のお知らせ

IWA 2018 TOKYO における研究発表者に対して会議参加登録費の助成を予定しています。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、国際会議への参加が難しかった方々が、IWA2018に奮って発表応募されることを期待しております。助成応募要項等の詳細は今後の学会誌会告、本会ホームページ等にて追ってお知らせいたします。

**助成内容** 会議参加登録費の全額または半額

**助成人数** 10名程度(予定)

#### 他学会関連行事

### アクア・イノベーション拠点 第5回シンポジウム in Tokyo

**主催** アクア・イノベーション拠点、信州大学

**期日** 2017年11月9日(木)11:00~16:30

**場所** 一橋講堂(〒101-8439 千代田区一ツ橋2-1-2)

## プログラム

- 11:00 開会あいさつ 上田新次郎 PL (日立製作所)  
11:10 ごあいさつ 佐藤順一 COIV3・VL (JST)  
濱田州博学長 (信州大)  
11:20 発表① 木村睦教授, 手島勝弥教授 (信州大)  
13:00 発表② 遠藤守信 RL (信州大) ほか5人  
15:10 パネル討論～社会実装に向けて  
モデレータ: 上田新次郎 PL (日立製作所)  
パネリスト: 田中厚志教授 (信州大学)  
ほか4人  
16:25 閉会あいさつ 遠藤守信 RL (信州大)  
それ以外は以下詳細 URL をご参照ください

**申し込み方法** 名前, フリガナ, 所属, 役職, 電話番号,  
メールアドレスを明記し, coi\_info@shinshu-u.ac.jp

**参加申込締切** 2017年10月31日(火)

**参加費** 無料

**詳細 URL** <http://www.shinshu-u.ac.jp/coi/news/2017/07/coi5-in-tokyo.php>

**問い合わせ先** アクア・イノベーション拠点支援課  
〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1  
Tel: 026-269-5771 Fax: 026-269-5710  
E-mail: coi\_info@shinshu-u.ac.jp

## 2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017)

**主催** 大韓環境工学会 (KSEE)  
**期日** 2017年11月15日(水)～17日(金)  
**場所** International Convention Center (ICC) Jeju  
**詳細** <http://www.ieec2017.org/>

### 第23回膜分離技術セミナー

**主催** 膜分離技術振興協会  
**期日** 2017年11月21日(火) 10時～17時  
**場所** 東実健保会館・第二会議室  
東京都東京都中央区東日本橋3-10-4

## プログラム

これから膜分離技術に携わる方々や現在, 膜分離技術に携わっている現場技術者の方々を対象に, 膜および膜分離技術の基礎と応用をわかりやすく解説するセミナーです。

## 申し込み方法

下記宛に Fax または E-mail でお申込みください。確認後, 参加証・請求書などをお送りします。

**参加申込締切** 2017年11月16日(木)

**参加費** 膜分離技術振興協会会員企業 10,000円, 非会員企業 12,000円, 地方自治体および学生 5,000円

**詳細 URL** <http://www.amst.gr.jp>

## 問い合わせ先

一般社団法人膜分離技術振興協会

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-12-11  
Fax: 03-6712-0192 E-mail: info@amst.gr.jp

### 第17回上下水道膜セミナーおよび 膜処理施設見学会

**主催** 膜分離技術振興協会  
**日時** ①第17回上下水道膜セミナー  
2017年12月7日(木) 13:00～17:00  
天草市民センター  
(熊本県天草市東町3番地 Tel: 0969-22-4125)  
②膜処理施設見学会  
2017年12月8日(金) 10:00～15:00  
上津浦浄水場および高浜浄化センター  
(熊本県天草市)

## プログラム

浄水膜の種類と開発の歴史/水道用浄水膜の制度 AMST 規格について/膜処理技術の研究開発(仮題)/国内外における水道用浄水膜の実用例/「省エネ型膜ろ過浄水施設導入手引き(事例集)」の紹介/下排水処理関連の膜技術の動向について

**参加費** 会員 12,000円, 非会員 14,000円, 国・地方自治体 6,000円, 学生 4,000円(見学マイクロバス代・昼食代含む)

**定員** 50名(定員になり次第締め切り)

**申込方法** 下記宛に Fax または E-mail でお申込みください。確認後, 参加証・請求書などをお送りします。

**申込締切** 2017年11月30日(木)

## お問い合わせ・申し込み先

一般社団法人膜分離技術振興協会  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-12-11  
東日本橋 TS ビル  
Fax: 03-6712-0192 E-mail: info@amst.gr.jp  
URL: <http://www.amst.gr.jp>

### 第44回炭素材料学会年会

**主催** 炭素材料学会  
**協賛** (順不同, 予定) エネルギー・資源学会  
**期日** 2017年12月6日(水)～2017年12月8日(金)  
**場所** 桐生市市民文化会館  
(〒376-0024 群馬県桐生市織姫町2-5)

## プログラム

今年の特別セッションのテーマは「エネルギー変換を指向した炭素調製の科学」です。共催, 協賛学会会員であれば, 炭素材料学会の会員以外でも講演することができます。英語での発表はすべてインターナショナルセッションになります。本セッションは招待講演と一般講演で構成されます。発表および要旨の言語が英語となります。上記セッションへの多数のご参加をお願いいたします。

**申し込み方法** HPより参加申し込みシステムにて登録  
**参加申込締切** 2017年11月9日(木)

**参加費** 詳細URLをご覧ください。

**詳細URL** <http://www.tanso.org/contents/event/conf2017/>

**問い合わせ先** 炭素材料学会ヘルプデスク  
 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5  
 Tel: 03-3362-9743 Fax: 03-3368-2827  
 E-mail: tanso-desk@bunken.co.jp

## お知らせ

### 「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優秀な国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞(いであ活動賞)」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成致します。助成の対象者を下記のとおり募集致します。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

#### 〈募集の手引き〉

**応募資格** 本会の個人正会員

**助成内容** 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外を対象とするシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会の開催等。

**助成金額** 30万円(上限)

**助成期間** 2018年4月1日(日)～2019年3月31日(日)

**助成対象件数** 1件

**応募方法** 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送(簡易書留)又はE-mail(kubota@jswe.or.jp)で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

**提出書類** (書式は自由)

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、Fax、E-mail、所属、略歴、研究業績(主な発表論文リストや国際的な活動実績)(A4、1ページ程度)
- 活動の内容を示す計画書(目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度)
- 必要経費の概算書(活動全体にかかる経費(自己資金を含む)と本会からの助成希望金額を明記してください)

**提出期限** 2018年1月15日(月)必着

**提出先** 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号  
 (公社)日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会  
 (簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください)

E-mail(kubota@jswe.or.jp)での提出も可(件名に「水環境国際活動賞」と記載してください)

**合否通知** 選考結果については、2018年2月までに応募者に通知致します。

**その他** 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

### 2018年国際科学技術財団研究助成

#### 「資源・エネルギー、環境、社会基盤」の募集

**募集期間** 2017年9月1日(金)～11月30日(木)

**応募資格** 2018年4月1日(日)現在で35歳以下、国内の大学、公的研究機関等に所属する者

**助成件数** 10件

**助成金額** 1件100万円

**応募方法** 郵便送付

**決定期間** 2018年2月

**詳細URL** <http://www.japanprize.jp/subsidy.php>

**問い合わせ先** 国際科学技術財団 研究助成係

〒107-6035 東京都港区赤坂1-12-32

アーク森ビル イーストウイング35階

Tel: 03-5545-0551 Fax: 03-5545-0554

E-mail: kenkyujousei@japanprize.jp

## 水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷き、環境省水・大気環境局編の川辺で見かける生物たちに関する冊子を販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。

水生生物調査法に御関心のある方に、広く御利用いただくようお願いいたします。

購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mail または Fax にてお申し込みください。

### 記

定価表(税込)(円)

印 刷 物	定 価
1. 川の生きものを調べよう(冊子)	170円
2. 魚・鳥・植物(冊子)	170円
3. 川の生きものを調べよう(下敷)	150円

申込先 公益社団法人 日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352

E-mail : infobio@jswe.or.jp

## 購 入 申 込 書

品 名	価格(内税)	購 入 数
1. 川の生きものを調べよう(冊子)	170円	部
2. 魚・鳥・植物(冊子)	170円	部
3. 川の生きものを調べよう(下敷)	150円	枚

注) 送付先1ヵ所あたりの購入数が合計500部以上の場合、当方で送料を負担いたします。500部未満は実費をご負担願います。

上記のとおり購入を申し込みます。

平成 年 月 日

[送り先]

所在地 〒

名 称

担当者名

電 話

FAX

支払い方法(○印)

銀行振込

郵便振替

\*お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。

\*請求書の様式、宛先、納入日、その他ご指定がございましたらご記入ください。